

福祉だより

# ぬくもり

第126号  
2023年2月19日

西宮市北六甲台地区  
社会福祉協議会  
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協●発行日/偶数月●編集/北六甲台地区社協広報部●配布エリア/北六甲台・上山口東

**歳末助け合いバザーの光景**

昨年十二月に募金事業部が新しい募金活動として「歳末助け合いバザー」を開催しました。(二面参照)

コミセンの会場は、クリスマスをイメージした数々の飾りつけが華やかな雰囲気醸しています。バザー商品の陳列コーナー、子供たち向けの「ちびっ子広場」「サンタさんと写真を撮ろうコーナー」「カフェコーナー」と巧みなレイアウトです。

小雨模様の寒い天候で鈍い出足でしたが、二時頃から参加者が増え、幼児や児童を連れた家族連れが目につきました。

サンタさん姿の小出さんとの記念写真に興じる姿や、ちびっ子広場で遊ぶ子供たち、バザーの品を手にするママたち、カフェコーナーでおしゃべりする参加者と、いつの間にか熱気のある会場に



## 地区社協のプラットフォーム機能

### 年頭所感

### 会長 日高昭夫

変貌していました。二九名の一般参加者の十四名が子どもたちでした。地区社協の活動ではかつてない多様な年代層の参加に驚かされました。

十六名のスタッフの自主的活動支えられ、街頭募金では叶えられない新たな息吹をもたらした素晴らしいイベントでした。

**山口地区社協の助成事業**

昨年十二月に、山口地区社協ボランティアセンターとの交流会がありました。山口地区社協から地域の様々な取り組みを応援する「助成事業」が紹介されました。

広報紙には「あなたのやってみたいを応援します」という呼び掛けで「場所確保のお手伝い」「広報のお手伝い」「活動費の助成」が紹介されています。

地域の有志が、福祉や子育て等の活動をしたいと思っても個人では幾つかのハードルがあります。

個人では難しい「場所確保」を地区社協が公民館、自治会館等の公共施設の利用の手助けをします。地域へのお知らせも地区社協の広報紙等で応援します。

**多様性を包み込むプラットフォーム**

地区社協という組織を土台に、地域交流部や子育て支援部が応援して募金事業部の「歳末助け合いバザー」という新たな活動が生まれました。全事業部合同の地区社協の活動紹介イベント「ぬくもりフェスタ(社協感謝祭)」の開催を検討したいと思えます。

山口地区社協の地域の様々な取り組みを支援する助成事業は北六甲台地区社協でもぜひ導入を目指したいと思えます。

地区社協は様々な人が色んな活動をするため立ち寄り、発着する地域の福祉活動の土台です。多様な活動を包み込む開かれたプラットフォーム機能



「活動費」についても上限を設けて助成します。

地区社協と地域住民との新たな繋がりが「ちびっ子広場」の事業に注目をしました。助成を通じて自主的活動を志す有志と地区社協との新たな繋がりが生れ、地域活動を促す効果とともに人材発掘の機会をもたらします。

**多様性(ダイバーシティ)、包み込み(インクルーシブ)、プラットフォーム**

という三つのキーワードをあらためて噛み締めて、北六甲台地区社協の新たなスタートに臨みます。



一月二七日、山口センターで北部地区初めての「あいサポート養成講座」が開催されました。

**あいサポート運動の歴史**

二〇一六年、相互に人格と個性を尊重し合い共生する社会の実現を目的として、障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律「障害者差別解消法」が施行されました。

当初鳥取県独自の取り組みが八県十六市六町が参画し、西宮市のサポートは一三〇〇人まで広がっています。

**あいサポート運動とは**

様々な障害の人と自然な形で関わり、「障害者」

## あいサポート養成講座

### 障害者・健常者の垣根を越えて

「健常者」の壁を取り除く運動だそう。具体的には、障害のある人が困っているときに、「ちょっとした手助け」を行うことにより、誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていく運動です。

**あいサポートとは**

障害のある人が困っていることを知り、必要な配慮を学び、実践することです。

私自身は、相手が障害者であることが判ると、どうしても特別に扱ってしまいがちですが、配慮はするが普通に接することが障害者や家族にとって嬉しいことなのです。

**普通に接すること**

グループワークで専門職の方の「沢山ある職種の内の一部であり特別な仕事をしているとは思わない」との発言に共感しました。私自身も「普通に接すること」を時間が経つにつれて実践したいと思えます。

(広報部 小出)

## 地域交流拠点・第三回地区代表者会議

### 補助金申請前提の拠点づくりを断念



一月二十九日に地域交流拠点第三回地区代表者会議が開催されました。

会議には地域の組織やグループの代表二二名の出席がありました。

冒頭に検討委員会から次のような協議経過の報告がありました。

- 検討委員会でのタタキ案づくりと地区代表者会議での協議決定という枠組みでの取り組み経過
- 検討委員会での委員の辞任に伴う、前記の取組み枠組みの白紙化と、自主活動グループによる拠点づくりという新たな枠組みの確認
- 新たな枠組みでの拠点

づくりについて二地区で構成される一方の自治会の意見の相違がありました。市の補助金を想定した拠点づくりでは地域の合意形成が不可欠。その点から一方の自治会の意見相違は合意形成の条件を欠くとの判断。

● 地域コミュニティの充実をめざす拠点づくりが、地域の対立を招きかねない進め方は本意でないとの検討委員会の判断。

● 上記の経過と背景から、検討委員会は、市の補助金申請を前提とした拠点づくりは断念し、検討委員会と地区代表者会議は解散すると判断。

会議では出席者から次のような感想や意見が述べられました。「交流拠点への期待が大きかったので断念は残念」「拠点づくりの期待する当初のワクワク感が拠点の形作りの議論の中で埋没したのではない」「何のための拠点なのかをしっかりと話し合うべきだった」

「経過をふまえれば解散はやむを得ない。自主活動グループによる今後の取り組みに期待したい」等々。

多くの意見がありました。だが、解散自体に異論はなく、検討委員会報告が承認されました。

最後に「まとめ」ということで検討委員会座長から次のようなコメントがありました。

■ 三年にわたる取組みが本意な形で終わったことに取り組みの中心を担った地区社協会長としてお詫びしたい。

■ 進め方等での反省点も多々あったが、得られた点も多い。「多くのグループが自主的で多様な活動を行なっていることが分った」「グループ間の交流の場が期待されていること」「多世代交流の場が求められていること」等々。

■ 地区社協は地域福祉の要の組織として、今日の発言にこめられた皆さんの想いや、拠点づくりを通して得られたことを今後の社協活動の中で活かして具体化していきたい。

(地区社協会長 日高)

募金事業部・歳末助け合いバザー

三事業部合同イベントの新たな息吹き



沢山の手芸品

急遽開催が決った助け合いバザー。役員だけでなく、ただ品物が集まるか不安でしたが、お友達にも声掛け頂いたお陰で思いがけず沢山集まりひと安心。

宝探し感覚の楽しみ

あいにくの雨で心配した人も、雨が小やみになるにつれ増えてきて、



チャリティの輪

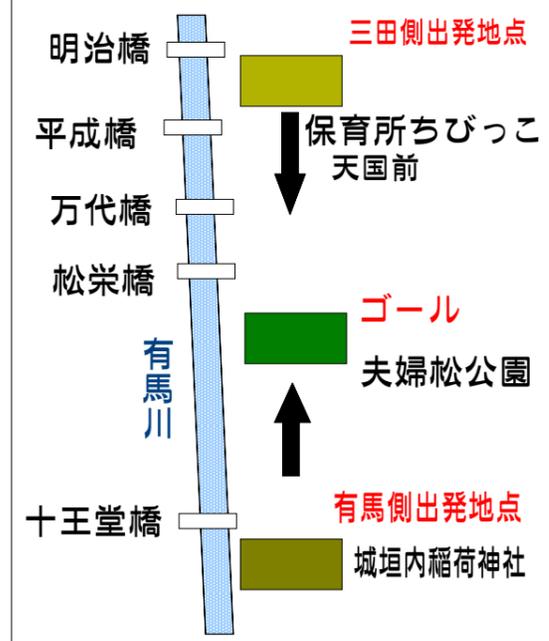
次回から、手芸講習会を開催し社協役員や協力の有志も一緒に手芸品を用意する事になり、まずはブローチからと準備を始めています。こうしてチャリティの輪が大きく広がり、人の繋がりも何よりの収穫だったので、と感しています。

子どもひろばの活用

子育て支援部は、バザー用の物品提供と「こどもひろば」の設置で、歳末助け合いバザーに参加、協力しました。スタッフはバザー用の手作りマスクなど、沢山の物品を提供してくれました。「こどもひろば」は大人がバザーを見ている間、子供達が退屈せず当日を過ごせるスペースになるよう、玩具や絵本を用意しました。



サクラウオーク・マップ



山口・北六甲台地区ボラセン交流会

今年も「さくらウオーク」を企画

コロナ禍で三年ぶりとなった交流会が、十二月七日水曜日午前十時三十分山口公民館で開かれました。

子どもひろば

今回のテーマは「今後の『さくらまつり』をどうするか？」の話し合いです。今年からは昨年開催された「さくらウオーク」を引き続き行うことになりました。スタートは、三田側は「保育所ちびっこ天国」と、有馬側は「城垣内稲荷神社」の二方向とし、ゴールの夫婦松公園では抽選会、食の屋台、福祉施設の物品販売を実施すること

両地区の近況報告

続いて両地区ボラセンの近況報告がありました。山口地区からは、新たに始められた「助成事業（地域の個人やグループによるイベントや活動の支援事業）」が紹介されました。場所の確保、広報や活動費の支援事業です。既に三件の助成が始まったとのこと。

北六甲台地区からは、コロナ禍の間も自治会と連携をとりながら唯一の相談窓口を開設したこと、報告しました。その他、資料として「ボランティアセンター案内」「ぬくもりカフェのカード」「ボラセンだより」「地区協広報紙・ぬくもり」をお配りしました。懐かしい顔にも再開でき、コーヒーを頂きながら有意義なひとときを過ごしました。

山口公民館に会場を移して再出発



一月二六日（木）認知症カフェの「にこにこ丸山カフェ」が会場を移して再出発しました。

コープ西宮北の三階組合員集会所で四年間にわたって開催されてきたが、お店の閉店に伴い、新年から山口センター四階の公民館実習室での開催となりました。

フードドライブ 食材提供のお礼

市社協の「食の支援」向けのフードドライブの取り組みに、たくさんの食材提供を頂き、ありがとうございました。

次回バザーのご案内

愛称：風薫る5月のバザー  
開催日時：5月21日（日）13時～16時  
バザー会場：コミュニティセンター  
内容：バザー、さくらんぼカフェ（無料）、こどもひろば、フォト・スポット

バザー品提供のお願い

バザー品：手作り品、未使用品  
受付日：5月6日（土）10日（水）16日（火）  
バザー受付場所：4月にチラシでお知らせします

ひと時を過ごすことができました。今後このような機会があれば、色々な年齢の子供達にもっと楽しんでもらえる、「こどもひろば」になるよう工夫していきたいです。

